



東京大学教育学研究科学校教育高度化・効果検証センター（CASEER）
公開研究セミナー

“Dreaming DMZ: A Guide to Unification for the South Korean Child”
「非武装地帯への夢：韓国の子どもたちにとっての統一」

講師：Dr. Dafna Zur

スタンフォード大学東アジア文化学科准教授／東アジア研究センター所長、韓国研究

2023年4月6日（木）18:00～19:30

本セミナーは英語で行われます

会場：本郷キャンパス教育学部棟1階158教室、およびZoom
（ハイフレックス開催）

司会：福留東土（東京大学大学院教育学研究科教授）



参加を希望される方は事前に以下から登録して下さい（登録期限：4月5日）

<https://forms.gle/NCbGcp9ox2hPrXzq5>

（オンライン参加希望者には当日までにZoomへのリンクをお送りします）

My presentation explores representations of the DMZ in South Korean films and literature for young readers. I show how these materials make manifest the dialectic of wartime palimpsest and ecological haven. I argue that, on one level, DMZ literature elides thorny issues around the cost of South Korea's economic development, its precarious security situation, and its implication in the economies of East Asia. On the other hand, the materials' visual grammar exposes their unwitting entry into a multiplicity of meaning, signaling a path towards "reconciliation without truth" on the Korean peninsula.

本セミナーでは、韓国の児童向け映画や文学で非武装地帯（DMZ）がどのように表現されてきたかについて論じる。これらの表現が、戦時中の文書とその後の野生の楽園としての状況とをどのように止揚させてきたかを示す。非武装地帯を描く文学はある面で、韓国の経済発展の重荷、不安定な安全保障、東アジア経済への影響といった困難とは無関係である。その一方、資料の視覚表現には、朝鮮半島の「真実なき和解」への道筋を示す、多義的な意味への無意識の参入が示されている。

※本セミナーは、CASEER とスタンフォード大学との交流プログラムの一環として開催されます。

お問い合わせ先：教育学研究科・福留東土 fukudome@p.u-tokyo.ac.jp